

# とうもろこしの収穫 最盛期!

あ  
旦  
開  
新  
聞



右の写真は二期分のとうもろこし  
「甘太郎」四回目の最終収穫の風景

**【七月の主な活動】**

1. 稲作事業
  - ・土手、畦の草刈り
  - ・穂肥散布
  - ・園芸事業
2. 園芸事業
  - ・土手、畦の草刈り
  - ・穂肥散布
  - ・野菜苗の灌水
  - ・夏野菜の収穫、包装、出荷
  - ・キヤベツ、ジャガイモの収穫
  - ・消毒、追肥、誘引
  - ・インゲン、ブツコロコリー、二十日
  - ・マイカーラインの取付け
  - ・消毒、色付け
3. 草業
  - ・センブリ栽培
  - ・二年草畠の片付け
  - ・一年草の換気掘上げ
  - ・土手の草刈り
  - ・一期、二期とうもろこし収穫
4. 畜糞工事業
  - ・アグリ収穫支援
  - ・福縄づくり
5. その他
  - ・飯田市長、勝野町長視察
  - ・泰阜神社しめ縄づくり
  - ・飯田市丘のうえ朝市参加
  - ・ナノバブルの実験



【なかなかの優れモノです】

## 園芸事業



七月初めに中干しを一、二週間実施しました。根に酸素供給し、反対に土中にあるガス抜きが目的です。それによって根張りが良くなり丈夫な稭ができます。中旬には粒数増加、穂肥肥大、稔実向上の為、穂肥を行いました。

地域共生推進室 発行  
【34号】  
2023年8月8日発行  
ご意見・質問は下記のメールまでどんどんお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント!  
mail:  
ta-hara@koaglobal.com



## とうもろこし栽培



七月十二日、畝にアーチパイプを入れ、ネットを張り、キュウリを九十四本定植しました。  
【優しく大切に】



七月六日、新ビニールハウス内に肥料を入れ、トタクターで耕起し、二期のキュウリ定植に向け、畝立てを行いました。



ナス、ピーマン、ししとう畑は、担当者の管理や愛情が行き届いて、野菜も一級品が出来ています。  
野菜は直ですね。  
【野菜畑に手が入っています】



今年播種したセンブリは密に生えていますが、また所々にゼニゴケ、さび病が発生しています。換気で遮光ネットの裾を上げてあります。換気で大きな改善には到っていません。対応を佐久支場に問い合わせ中です。



今年出荷のセンブリ二年ものが、昨年発生したゼニゴケで生き残ったセンブリが少なく、比較的生存が多くた畑の奥側に移植し、思い切つてトラクターで畝を潰しました。

【少し気が引けました】

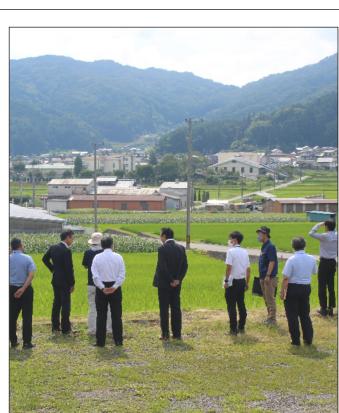
## センブリ栽培



七月十二日、一期のとうもろこし「あんみつ姫」の収穫が始まりました。一年ぶりの収穫、選別、計量、出荷でした。まだ握りで、サイズ感覚が合わず、収穫サイズが全体的に小ぶりでした。



## 実験



農産物の育苗において、ナノバブルを用いて灌水することで、根の活動がアップし、収穫量の増加が期待出来る。また根が大きくなることで、肥料削減にも繋がるとの話を頂き、ナノバブル発生装置を購入し、実験を開始しました。

## その他



七月十六日、三連休の真ん中、飯田市の丘の上で、朝市が行われ、多くのブースが出展しました。あさげの里も水引を展示販売しました。

## 朝市